

見る 読む つながる



広報まっぶし

MATSUBUSHI

2022

7

JULY
No.638



第28回萩原朔太郎賞受賞「雨をよぶ灯台」松伏町出身 詩人

マーサ・ナカムラ さん

「故郷があるから、どんな場所に行っても頑張れます！」

詩人 マーサ・ナカムラさん!!

松伏町出身の詩人マーサ・ナカムラさんが中央公民館を訪問されました。マーサさんは、1990年に松伏町に生まれ、町内の小学校を卒業されました。その後、詩を書き始めるきっかけとなる詩人と出会い、素敵な作品を発表し、様々な賞を受賞されました。中央公民館の図書室には、マーサさんの作品を紹介するコーナーを設けていますので、ぜひご覧ください。

プロフィール

マーサ・ナカムラ / Martha Nakamura / 詩人

1990年生まれ。松伏町出身。

第54回現代詩手帖賞受賞。

第一詩集『狸の匣』で第23回中原中也賞を受賞。

第二詩集『雨をよぶ灯台』で第28回萩原朔太郎賞を史上最年少にて受賞。

第8回早稲田大学坪内逍遙大賞奨励賞を受賞。



マーサ・ナカムラさん作品紹介コーナーにて

Q 詩を書き始めたきっかけは？また、いつごろですか？

A 21歳の時、大学で詩人のハチカイミミ蜂飼耳さんの詩の演習を受講したことがきっかけです。それまでは詩集を自分から好んで読んだり、自発的に詩を書いたりということは全くなかったのですが、蜂飼先生の講義で詩の世界の自由さ、面白さに目覚め、自分でも詩を書くようになりました。

マーサ・ナカムラさんに聞いてみた



Q 作家をしていて嬉しかったことを教えてください。

A いやなこと、悲しいことがあっても、創作の栄養になると思えるようになったことです。辛い思いをした経験があったからこそ、この作品が書けた、と思えるようになりました。あとは、場所を限らず、移動中でも布団の中でも、どこでも仕事ができることです。

Q 作品のアイデアは、どんな時に浮かんできますか？

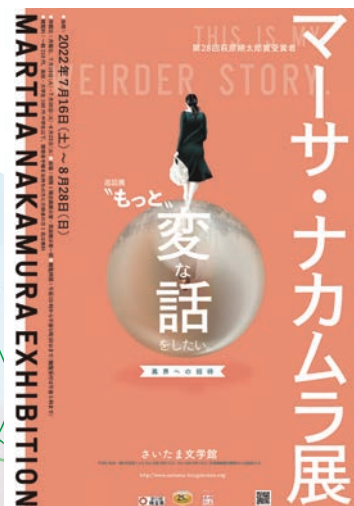
A 場所や時間は限らず、ボーッとしているときに、夢を見るようにふわふわと浮かんできます。

Q 松伏町の皆さんにメッセージをお願いします。

A 松伏町は本当にアットホームで、皆さんの温かいまなざしや見守りの中で、幸せな子ども時代を過ごせたと思っています。心安らぐ故郷として、感謝の思いが常にあります。故郷があるから、どんな場所に行っても頑張れます！これからもよろしくお願いします。



さいたま文学館
ホームページ



日時：7月16日(土)～8月28日(日)

場所：さいたま文学館(桶川市若宮1-5-9)